

(社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第5回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 日時 平成12年 7月31日 (月) 10:00~11:40

2. 場所 (社) 日本原子力学会 会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 有富 (主査), 二瓶 (副主査), 望月 (幹事), 伊藤, 植木, 尾崎, 久保, 讃井, 林, 広瀬, 松田,
丸岡, 三方, 吉村 (14名)

(欠席委員) 芦澤, 上園, 佐藤, 道券, (4名)

(常時参加者) 金井 (清水の代理), 白井, 高橋 (秀) (藤原の代理), 手塚 (4名)

(傍聴者) 三澤 (1名)

(事務局) 太田, 市園

4. 配付資料

F3SC5-1 第4回 輸送容器分科会 議事録 (案)

F3SC5-2 標準委員会の活動状況について

F3SC5-3 標準委員会専門部会運営通則

F3SC5-4 標準委員会規程・運営内規・専門部会運営通則の解説

F3SC5-5 標準原案の審議に関するガイドライン (案)

F3SC5-6 輸送容器の点検・保守に係る信頼性保守活用による検討結果と実績との比較

F3SC5-7 使用済燃料等輸送容器定期自主点検基準 (案) に対する

標準委員会委員コメント

F3SC5-8 大型輸送容器定期点検基準 (案)

参考資料

F3SC5-参考1 標準委員会の活動基本方針

F3SC5-参考2 原子燃料サイクル専門部会の活動方針

F3SC5-参考3 標準委員会等の開催予定と実績

F3SC5-参考4 使用済燃料等輸送容器定期自主点検基準 (案) の検討報告 (SC5-10)

5. 議事

(1) 出席者の確認

事務局より, 出席者の確認の結果, 18名の委員中14名の出席があり, 決議に必要な委員数 (12名以上) を満足している旨の報告があった。また, 藤原氏を常時参加者とすることを全会一致で承認した。

(2) 前回議事録確認

前回議事録について承認された。 (F3SC5-1)

(3) 活動状況報告

事務局より標準委員会等の活動状況の報告を行った。 (F3SC5-2)

(4) 標準委員会専門部会運営通則他について

事務局より専門部会運営通則が標準委員会にて決定されたこと及び効率的な審議のため「標準原案の審議に関するガイドライン (案)」が標準委員会にて検討されていることが報告された。 (F3SC5-3,4,5)

(5) 原子燃料サイクル専門部会コメントについて

望月幹事より頻度等級5の頻度区分及び故障頻度の表記方法を見直すこととの第3回原子燃料サイクル専門部会コメント及びその対応について説明を行了承された。 (F3SC5-6)

(6) 標準委員会における中間報告結果について

有富主査より第5回標準委員会において鈴木副部会長, 望月幹事, 尾崎委員から標準原案の中間報告を行った旨の報告があった。

望月幹事より第5回標準委員会及びその後寄せられた標準委員会委員からのコメントについて説明があり, 構成, 表現等の見直しを行うこと及び標準名称を「大型輸送容器定期点検基準」とすることが了承された。 (F3SC5-7)

(7) 標準原案の決議について

・ 有富主査より第3回原子燃料サイクル専門部会における審議及び第5回標準委員会における中間報告結果を踏まえ, 本原案を分科会原案として決議することが提案され全会一致で承認された。

(8) その他

- 原子燃料サイクル専門部会審議，標準委員会審議及び公衆審査の状況により必要に応じ分科会を開催することとした。以上